

本校では、平成21年度学校図書館パワーアップ事業を受け、「人が集まる図書館」「使いやすい図書館」「本が生きる図書館」をめざし、図書館の環境整備に努めてきた。



← わくわく図書館の様子
(学習スペース入り口から)



わくわく図書館の様子 →
(読書スペース入り口から)

1. 子どもと本をつなぐ読書活動の工夫

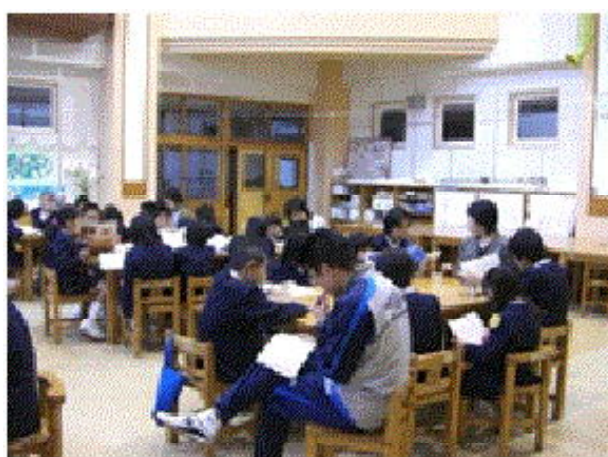
「本が好きで、進んで読書をする子ども」をめざして、読書意欲を高める方法を探りながら、本に親しむ機会づくりや読書の楽しさを味わわせる読書活動の工夫を行った。

(1) 朝読書



↑ 6年学級の朝読書

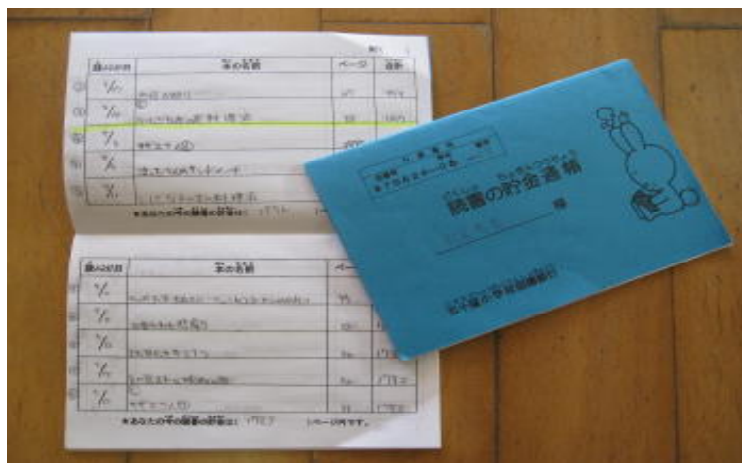
毎週月～水曜日の朝。子どもたちは、時間になると机の横のマイブックバッグから本を取り出し、静かに読書を始めます。



↑ 全校読書

学期2回の全校読書は、全校児童、教職員が同じ部屋で30分間行います。縦割り班ごとに静かに朝読書を楽しんでいます。

(2) 読書貯金



↑ 読書貯金通帳

読書貯金通帳には、読んだ本の題名やページ数を記録します。月末には貯まった読書貯金通帳の読んだページ数の合計を出したり、読んだ本の感想を書いたりして、自分の読書の記録を残しています。中・高学年の子どもは、読んだ本の分類番号も記入しています。子ども一人一人の読書の記録を残すことで、教職員は子どもたちの読書の傾向を把握し、読書のジャンルを広げる手立てとしています。

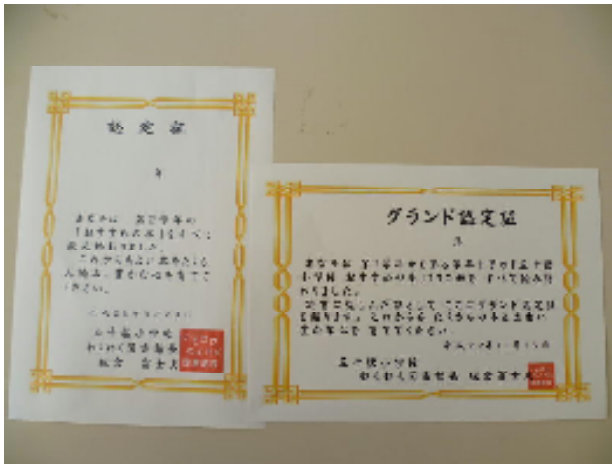
(3) 五十猛小必読図書の選定と取組



← 各学年の必読図書の一覧表（廊下掲示用）

五十猛小学校「おすすめの本」は130冊。子どもたちは、認定証をめざしておすすめの本を読んでいます。

子どもたち一人一人は、「五十猛小必読図書ファイル」をもち、必読図書を読むとシールを貼り自分の読書の記録を残しています。



↑ 各学年の必読図書を読んだ人の「認定証」
↑ 全学年の必読図書を読んだ人に贈られる「グランド認定証」。昨年度7名の子どもが、グランド認定証を授与されました。

↑ 図書館前廊下に掲示された認定証
上段には、「グランド認定証」。子どもたちは、卒業時に全学年の必読書を読破し、「グランド認定証」をもらうことをめざしています。

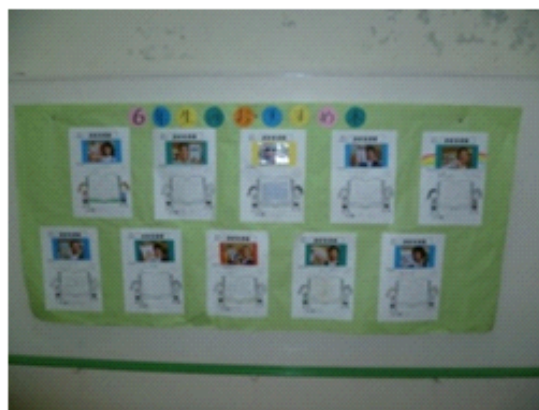
(4) カエル司書クイズ



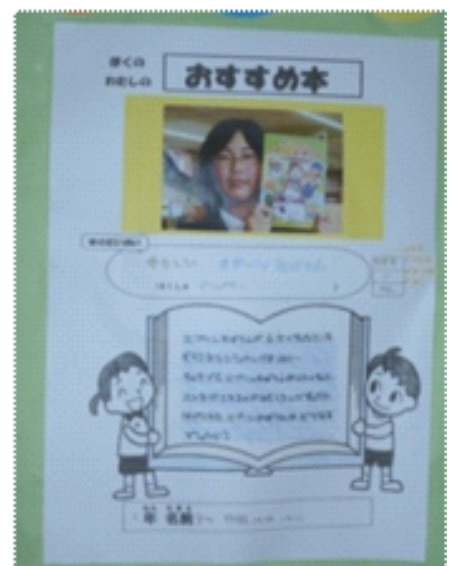
← 図書館入り口の「カエル司書クイズ」

図書館のイメージキャラクターであるカエル司書が、本に関するクイズを出します。図書館クイズに正解するとシールがもらえます。カエル司書横の本から答えを見つけるようになっています。子どもたちには好評で、クイズが新しくなるのを心待ちにしている子どもも多いです。

(5) おすすめの本の紹介



おすすめの本カードの掲示 →
一人一人がおすすめの本のおもしろいところや感想を紹介しています。
紹介されたおすすめの本は全校で65冊になりました。





← ポップのついたおすすめの本
 おすすめの本は、展示後図書館内にならべられます。おすすめの本がよく分かるように、全教職員の手作りのポップをつけました。手作りポップは、よく目立ちます。おすすめの本は、子どもたちから人気です。

(6) お話会



↑ 学校司書のお話会
 学校司書によるお話会は、昼休みの貸出の合間に、図書館で行っています。子どもたちは、目を輝かせて話を聞き、その後同じ作者の他の絵本をみんなで楽しみました。



↑ ボランティアの方のブックトーク
 「星空のはなし」と題し、七夕にあわせて星や宇宙に関する本のブックトークがありました。興味をもった子どもも多く、ブックトーク後、星や宇宙に関する本の貸出が増えました。



↑ 図書館でのお話スタンプラリー
 低学年の児童を対象に、好きな本の読み語りの部屋を移動してお話を聞く、「お話スタンプラリー」を行いました。ゲーム的要素を取り入れたことで、子どもたちは楽しみながらそれぞれの部屋のお話の世界を楽しみました。

↑ 放送室でのお話スタンプラリー